

恐怖症およびマニアの例

数百もの恐怖症およびマニアが考えられるが、ほんの一例を挙げる。

恐怖症

- ・高いところが怖い (高所恐怖症)
- ・クモが怖い (クモ恐怖症)
- ・本が怖い (書物恐怖症)
- ・鏡が怖い (鏡恐怖症)
- ・血が怖い (血液恐怖症)
- ・死体が怖い (死体恐怖症)
- ・歯が怖い (歯恐怖症)
- ・火が怖い (火恐怖症)
- ・電話が怖い (電話恐怖症)
- ・外人が怖い (外人恐怖症)

マニア

- ・病的な親切 (善良マニア)
- ・痛みへの執着 (疼痛性愛)
- ・不合理なほがらかさ (病的快活)
- ・本を盗みたいという強迫的衝動 (書籍窃盗癖)
- ・正義が完遂されるのを見たいという執着 (正義マニア)
- ・制御不可能な笑うことへの強迫的衝動 (笑いマニア)
- ・叫ぶことへの不合理な強迫的衝動 (絶叫マニア)
- ・盗むことへの不合理な強迫的衝動 (窃盗マニア)
- ・想像上の病気に苦められる幻想 (疾病マニア)
- ・うそをつくことへの不合理な強迫的衝動 (病的虚言マニア)

武器とダメージ

- 素手による攻撃 (人間の場合): 1D3+ダメージ・ボーナス
- 小型ナイフ: 1D4+ダメージ・ボーナス
- マチェット: 1D8+ダメージ・ボーナス
- 小さい棍棒: 1D6+ダメージ・ボーナス
- 野球のバット: 1D8+ダメージ・ボーナス
- 拳銃: 1D10
- ショットガン: 4D6 (目標までの距離が10m以内までのダメージ。20m以内までなら2D6のダメージ。貫通はしない)
- ライフル: 2D6+4

ほかの形態のダメージ

負傷	ダメージ	例
軽度の負傷: 人はこのレベルのダメージを何度受けても生き延びることができるだろう。	1D3	パンチ、キック、頭突き、弱い酸、煙を吸う*、拳大の石つぶて、沼に落下 (3mごとに)
中程度の負傷: 重傷を生じさせかねないが、死に至ることはまれ。	1D6	草地への落下 (3mごとに)、棍棒、強い酸、水が肺に入る*、真空にさらされる*、小口径の弾丸、矢、炎 (燃えるたいまつ)
深刻な負傷: 重傷を生じさせやすい。1回か2回発生すれば、人を意識不明にさせるか殺してしまうだろう。	1D10	38口径の弾丸、コンクリートへの落下 (3mごとに)、斧、炎 (火炎放射器、燃える部屋を突っ切る)、6~9mでの手榴弾やダイナマイトの爆発、弱い毒**
致死的な負傷: 平均的な人間は50%の確率で死に至る。	2D10	時速50kmで走る車にはねられる、3~6mでの手榴弾やダイナマイトの爆発、強い毒**
致命的な負傷: 完全な死をもたらすであろう。	4D10	高速で走る車にはねられる、3m以内での手榴弾やダイナマイトの爆発、致死的な毒**
スプラッター: 完全に死んでいるのはほぼ間違いない。	8D10	高速での正面衝突、列車との衝突

* **窒息と溺れ:** CONロールを毎ラウンド行なわなければならない。一度CONロールに失敗すると、以後の各ラウンド、犠牲者が死ぬか息ができるようになるまでダメージを受け続ける。耐久力がゼロになれば死が訪れる (重傷に関するルールは無視する)。

** **毒:** CONロールのイクストリームの結果は毒からのダメージを2分の1にする。